

編集・発行 市民ネットワークみはま

◎事務所

千葉市美浜区高洲3丁目20-45 細矢ビル403号室

TEL/FAX 043-278-5005

E-mail mihama@chibanet.jp

配布地域 美浜区 配布部数：54000部



千葉市議会議員選挙候補予定者

## 黒澤和泉 インタビュー

聞き手 松井かよ子

### 心をつなぐ優しい街づくりへの思いを聞きました



黒澤和泉（左）へ松井かよ子（右）からバトンタッチ

#### ● 千葉市議会で何を実現したいですか？

最近「リケジョ」という言葉が流行っていますが、私が大学に通っていた時には、工学部全体で3%しか女子学生はいませんでした。しかしリケジョは確実に増えてきました。議会にも多様性が必要です。私は、女性で、妻であり、母でありつつ、科学的視点を持っています。複数の立ち位置から行政への様々な提案をしていきたいと思っています。

#### ● 海外生活の経験を千葉市にどう活かしますか？

3カ国、20年間の海外生活を経験しました。アメリカでは多くの学校で、必要な子どもたちに朝食の提供がありました。日本でも子どもの貧困が問題とされ、こども食堂などの活動が盛んですが、ほとんどが月に1回です。食は毎日必要です。朝食の提供が学校のできるための仕組みづくりを、広く市民の皆さんと共に進めます。帰国後、ちば自主夜間中学に家族で参加し、アジアの人たちとも触れあっています。受験一辺倒でない教育の在り方を目指していきます。

#### ● 国境をこえた課題にどう向き合いますか？

今世界共通の問題は、孤独、分断が広がっているということです。コロナ禍の影響で、周りの人との直接的なふれあいが減り、対立、不安、不満が高まっていると感じます。また、高齢者などは家に引きこもりがちとなり体力の衰えが進んでいます。高齢者の外出・移動を支援します。

千葉市の社会教育委員の経験を生かし、身近な施設のインターネット環境を整え、会場でもオンラインでも出会う場を増やし、すべての世代の孤独を防ぎます。

地域コミュニティを再生し、負のスパイラルから抜け出すことができるよう力を尽くします。

#### ● どのような社会づくりを目指しますか？

ゴミや教育、環境、福祉など私たちの生活に一番身近な部分のルールを作り、予算を議決していくのが市議会だと思っています。

市民一人一人が幸せに暮らせる心をつなぐ優しい街づくりを進め、市民の声を反映していない国政にも、地域から変化を迫っていききたいと思っています。

#### くろさわ いずみプロフィール

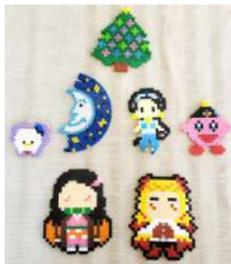
1973年千葉市生まれ（49歳）幕張西で育つ幕張西小学校、幕張西中学校卒業、東京学芸大学付属高等学校、東北大学工学部・大学院工学研究科を経て、アメリカジョージア工科大学大学院博士課程修了。工学博士。

自動車部品会社で通訳後、医療通訳の資格取得。夫の海外勤務によりイギリス、アメリカ、ドイツに暮らす。

日本に帰国後、PTAでの活動などを行い、2022年千葉市社会教育委員。

趣味：水泳、映画鑑賞 打瀬在住

## 児童相談所にパンを届けるプロジェクト



2022年も毎月1回、児童相談所の一時保護所の子どもたちにパンを届けることができました。多くの方からのご寄付に感謝いたします。

写真（左）12月20日、クリスマスパンを届けた黒澤和泉と職員の方々

（右）パンのお返しとして届いた子どもたちのアイロンビーズ作品

## 戦争の話を聞かせてください 13

地域から平和をつくるために、体験談を聞き取りしています。ご連絡をお待ちしています。

#### 磯辺在住 1941（昭和16）年生まれ 男性

終戦の年、私はまだ4歳であった。あえて戦争に行かなかった父親、ミッションスクールやユネスコで長年活躍したクリスチャンの母親、そして兄弟5人と、強い家族愛と絆とともに育った。国のために死ぬのも、殺すのも、殺されるのもいやだから戦争には行かないという強い意思を貫いた父は、牢屋で拷問を受けた。父は身の危険を感じ、家族を日本に置いて満州へ逃亡。名前も職も変え、数年そこで生き延びた。

終戦の年、父が帰国。真夜中に到着後、家族と久しぶりの対面を果たした。その翌日はなんと8月15日。これでもう隠れなくてもよい、家族とまた新しい生活を築けると皆で涙して抱き合って喜んだ。（聞き手 鎗田）

#### 高浜在住 1940（昭和15）年生まれ 女性

埼玉の駅から数分のところで育った。防空壕の穴が掘れるような場所ではなく、空襲警報が鳴る度に米の袋を背負われ、母におぶられながら雲行きをずっと眺めていた。家が兼業農家だったため、食べられるものがあるだけ自分は恵まれていた。

終戦の日、母におぶられて玉音放送を聞いたのを覚えている。暑かったので裸坊だったが、天皇陛下のお言葉を裸で聞いては失礼だと手ぬぐいを体に巻かれた。

戦後、上野で手足のない人が白い服をきてハーモニカやアコーディオンを弾いているところを目にした。昔は戦争がリアルだったが、今はリアリティーがない。（聞き手 黒澤）

## 報告 11月17日 第23回 大人の学校報告

### 意外に知らない各国の生活事情



#### あくまで前向き、自然体

今回の「大人の学校」では、黒澤和泉さんにアメリカやドイツ、イギリスでの生活、出産、子育て、学校、介護などの話を聞きました。

ドイツのインターナショナルスクールでPTA活動に参加したが、親たちが国籍ごとにかたまり、コミュニケーションがとれていないと感じた。

そこで、誰もなりたがらないPTA会長を引き受け、新入生歓迎のイベント企画としてパンの食べ比べを思いついた。ドイツパンは本当においしいが1つひとつが大きくて何種類もは買えない。「パンの試食会」を提案すると、パンだけでなく美味しいハムやジャムの店を教えてください、パン職人さんに声をかけてくれたりする人がいた。次から次へと協力者が増え、大勢の人が参加する大イベントになった。みなそれがとても楽しかったためか、それ以降も協力してPTAのイベントが盛んになった。

そんな話に彼女の積極性と、子どもたちの生活の場である学校を良い雰囲気にしたという強い思いを感じました。「意外と知らない生活事情」というタイトル通りのおもしろい「大人の学校」でした。（磯辺 岩橋）

## イベント 3.11を忘れない！ 防災グッズを見直そう

3月9日（木）10:30-12:00 市民ネットワークみはま

防災ラジオ、非常用バッテリー、非常用トイレなど、いろんな防災グッズはあるけれど、どう使えばいいかわからないものはありませんか？ 既にお持ちのものや、これから備えようと思っている防災グッズを試しながら点検・確認をしていきましょう。非常食の試食会もあります。



## 市政相談

毎月10日

10:30～16:00（土日祝も含む）

「身近な問題を解決したい」などの相談に代理人（議員）や代理人経験者がお話を伺います。無料